



淀川愛好会 YODORIC NEWS

No. 85 2019 年 3 月 発行

〈社会人の窓 5〉

『共生』

相本太刀夫

私がよく散策する船橋川（枚方市）の土手や川縁には、壊れたおもちゃ、ペットボトル、ビニール袋、破れ傘などの生活廃品、自転車、バイクの残骸などが散乱する中にいろいろな草木や野草が生え、川には、カラス、カワウ、カワセミ、餌を探して忙しく動き回っているカモ類、水辺では哲学者の如くじーっと水面を見詰めているサギたち（コサギ、中サギ、アオサギ）、尾を上下に振りながらチョコチョコ歩き回っているセキレイやセグロセキレイなどの動物や植物たちが織りなし彩る自然の風景や景色には心が癒されます。

ところで私は、日頃何気なく「自然」という言葉を使っていますが、「自然」を自分を含めない一歩離れたところから捉える癖、植物や動物などの生きものたちを自分側とその外、すなわち多くを自然圏内に分け入れ、私たちヒトを無意識的に自然圏外にいると思う癖があるのではと思います。偶に心癒される風景などに出くわすと、ああー自然はいいなあーと思うときがありますね。そんな時私はふと“人間も自然の一員”ではないか！と思い、果たしてこれでいいのだろうか、と自問するときがあります。おそらく皆さんも私と同じような「自然」というものに対する思いを持たれることがあるのではないかと思います。

いまや地球には、誕生して数十万年の僅かな歴史しか持たない、新参者の生物、ホモサピエンス（Homo sapiens：賢い人間という意味）という動物種が蔓延り、地球を我がもの顔に牛耳り、植物や動物などは乱獲（採）し放題で、化石燃料はじゃんじゃん燃やし、ゴミは環境を汚し続け、その結果、ヒト自身のみならず、ヒト以外の生きものたちの生息環境を劣悪なものにしていますが、私は、これでいいのか、と思いますね。

私には好きな言葉があります。ネパールの農山村僻地の医療に生涯を捧げられた故岩村昇先生（医師）の著書『共に生きるために』にある『サンガイ・ジウネ・コラギ：（みんなで生きるために）』という言葉、すなわち“共生”です。これから、賢いヒトと他の生きものたちが共に健やかに生きて行ける、つまり共生できる地球づくりが大きな課題となってきますね。

私は、歳は取っていても十分な余力と気力があり、『淀川愛好会』での活動を通して会員の皆さまと一緒に、この水の惑星で生命を営むすべての生きものたちが仲良く共生できる社会づくりに少しでも貢献できれば、と考えています。

（摂南大学薬学部元教授 & Yodorik News 前編集長）

イベント案内 （詳細は 3 ページへ）

○淀川愛好会春のイベント 4 月 28 日（日）10:00~14:30 大阪ふれあいの水辺

○琵琶湖・淀川流域圏シンポジウム in 大阪 5 月 18 日（土）12:30~17:00 OIT 梅田タワー

○天若湖アートプロジェクト 2019 6 月 1 日（土）2 日（日）日吉ダム（京都府南丹市）

イベント報告

2019 年 新年会・総会

1月12日(土)に、今年度の新年会と総会を寝屋川駅前友呂岐水路沿いの和風居酒屋「安兵衛」で開催しました。淀川愛好会の村井勉氏をはじめ学生含め16人の参加がありました。総会では澤井健二会長の新年挨拶から始まり、18年度の事業報告と活動の総括、19年度の事業計画が発表されました。本年度は5月18日に新たな事業として、茶屋町の学校法人常翔学園梅田キャンパスにて「淀川流域についてのシンポジウム」を開催する報告もありました。新年会では、カモナベに舌鼓みをしながら各々の時間が許す限り会員と学生たちで交流を深め、流域問題について議論と意見交換を行いました。(O・Y)

2018 年度事業報告

日程	内容	開催場所
4月29日(土)	春のイベント	大川
8月4・5日(土・日)	夏のイベント	摂南大学・淀川点野砂州
11月18日(日)	秋のイベント	巨椋池周辺
1月12日(土)	総会・新年会	居酒屋・安兵衛
2月23日(土)	淀川討論会	摂南大学

2019 年度事業計画

日程	内容	開催場所
4月28日(日)	春のイベント	大川
5月18日(土)	琵琶湖・淀川シンポジウム	OIT 梅田タワー
7月27・28日(土・日)	夏のイベント	京大宇治川OL
10月・11月頃	秋のイベント	未定
1月11日(土)	総会・新年会	居酒屋・安兵衛
2月29日(土)	淀川討論会	摂南大学

平成 30 年度 第 3 回 寝屋川再生ワークショップ

1月19日(土)に寝屋川市役所で寝屋川再生ワークショップが開催されました。寝屋川市水辺整備基本構想の説明のあと、寝屋川の将来計画について議論が行われました。学生たちも意見を発するようになってきていました。私たちの班は寝屋川にもっと興味をもってほしく、参加人数を増やす方法などについて議論しました。来年度からは新たな学生が参加しますが、寝屋川ワークショップに新たな風が吹くことを願っています。(M・D)



第3回 近畿河川フォーラム 兼 第21回 淀川討論会

2月23日(土)に摂南大学にて、河川協力団体全国協議会の山道省三氏と、近畿地方整備局の中嶋遼氏からの現状説明のあと、関西広域連合の上坂昇治氏がプラスチックごみ問題について熱く講演されました。その後、参加団体から活動報告があり、ぽぽっぼくらぶによるヨシ笛演奏に合わせて、川の歌をみんなで歌いました。48名の参加者があり、その後に行われた懇親会では、これからの川について話し合っている場面が多く見受けられました。(T・T)



桂川流域クリーン大作戦

2月24日(日)に京都府にて桂川流域クリーン大作戦が行われました。摂南大学エコシビル部は京都市伏見区の納所会場にて、よく晴れた天気の中、様々な団体や個人参加の方々と一緒に川の沿岸に打ちあがったゴミや大型の粗大ゴミなどを全員で集めました。参加人数は約50名でしたが、ゴミ袋の数は70袋程度集まりその他の大きなゴミも多く集めることができ、清掃前よりも見違えるように綺麗な川辺にすることができました(W・K)



今後のイベント詳細

淀川愛好会 春のイベント「大川クリーン活動&川で学び・つながる」

日時：2019年4月28日（日）10:00～14:30（雨天決行）

場所：大阪ふれあいの水辺（源八橋周辺）

行程：9:30 受付開始 帝国ホテル前（大川右岸）

10:00～12:00 清掃活動&水辺の生き物観察

12:00 昼食

13:00 Eボート乗船

14:30 解散

共催：淀川愛好会、おお川水辺クラブ

参加費：無料

申込先：淀川愛好会事務局 締切：4月21日（日）



琵琶湖・淀川流域圏シンポジウム in 大阪 - 治水・環境・文化について考えよう -

日時：2019年5月18日（土）12時30分～17時

場所：大阪工業大学梅田キャンパス（OIT 梅田タワー）2階セミナー室203

内容：12:30 ポスターセッション

13:30 講演（治水：今井敬三氏、環境：竹門康弘氏、文化：橋本道範氏）

16:00 総合討論

17:00 閉会

参加費：無料

主催：琵琶湖・淀川流域圏シンポジウム実行委員会

（琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、淀川愛好会、淀川流域勉強会、天若湖アートプロジェクト、近畿水の塾）

共催：摂南大学S&H 淀川水系総合研究プロジェクト

協力：学校法人常翔学園



天若湖アートプロジェクト2019「あかりがつなぐ記憶」

日時：2019年6月1日（土）・6月2日（日）日没後～深夜 予定

場所：日吉ダム（天若湖）周辺

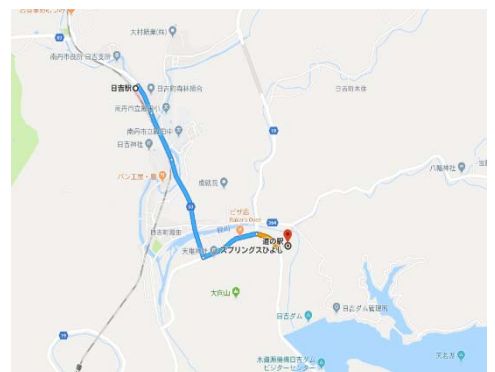
受付：スプリングスひよし（京都府南丹市日吉町中宮ノ向8番地）

主催：天若湖アートプロジェクト実行委員会

参加費：無料 参加申込：不要

詳しくは天若湖アートプロジェクト公式ブログ・公式Facebookをご覧ください

公式ブログ：<https://amawakaap.exblog.jp/> 公式Facebook：<https://ja-jp.facebook.com/AmawakakoArtProject/>



学生生活4年間を振り返って

松宮英希

摂南大学に入学したのがつい先日のことのように感じますが、あっという間に時が過ぎ、この3月で卒業することになりました。学生生活4年間を振り返ると、思い出はエコシビル部のこと、石田ゼミのことがほとんどで、正直、エコシビル部に入らなかった自分、卒業研究ゼミが石田ゼミでなかった自分というのは、想像することができません。

エコシビル部に入部したきっかけは、河川環境問題が懸念されている中で、少しでも自分ができることをしたいとの思いからでした。学外でやっている吹奏楽との両立で、ほとんど活動に参加できなかった時期もありましたが、それでも活動に参加した時、自分を受け入れてくれた部員の皆さんには本当に感謝しています。学年が上がると、主務と広報の役職も任せていただき、活動上必要となる書類提出、外部への情報発信を行いました。2つの役職を通し、細部まで疎かにせず取り組むことの大切さを学ぶことができたと感じています。

ゼミ生になると、行事の全体的な計画、進行まで任せていただくことができ、裏方の気持ち、重要性を知ることができました。そして、何事においても準備が大切であるということ、常に人の視点に立って物事を考えることの重要性を学ぶことができました。数々の行事に参加する中で、多くの方々と関わらせていただくことができた経験は、自分自身の財産です。

エコシビル部、石田ゼミで学ばせてもらったことは、今後生きていく上で必要なことばかりだと考えています。この恵まれた環境で学べたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。4月から社会人になりますが、感謝の気持ちを忘れず、学んだことをしっかり活かし、成長していけるよう頑張ります

(摂南大学理工学部都市環境工学科4回生・就職先：西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社)

会員募集・寄稿・会費納入のお願い

本会では、淀川に興味・関心のある方の「ご入会」をお待ちしております。ご入会を希望される方は淀川愛好会事務局へ随時ご連絡下さい。「社会人の窓」への投稿も随時募集しています。

会員の方は、今年度の年会費3000円(学生1500円)を納入していただけるようお願いいたします。

会費は事務局にお届けくださるか、下記の口座にお振込みください。

郵便振込口座：00920-6-116036 加入者名：淀川愛好会

銀行振込口座：りそな銀行 寝屋川支店 普通預金 口座番号：2230030 口座名義 淀川愛好会

編集後記

2月15日にBYネット主催の千苺ダムの見学会に参加して来ました。JR福知山線で大阪駅から道場駅まで各駅停車で50分ほどで着き、宝塚を過ぎると電車の窓からの眺めは、心地よい爽やかな気分を味わわせてくれます。

多方面から10名の参加者。澤井先生から見学会の主旨説明があり続いて神戸市水道局事業部浄水管理センター北神浄水の松本泰明事務所長から、千苺ダムの歴史と貯水池の水は、おもに千苺浄水場に送っていますが、トンネル(導水路)を通して西宮市にある上ヶ原浄水場にも送っているという状況の説明を受けました。場内のさくら並木公園を散策しながら、堤高さ42.4mの本堤を望みながら険しい階段を上がり貯水池まで無事に到着。水が豊富な自然の風景を心ゆくまで愉しむことができました。

昨今は、美を無視した経済のみの公共投資が多い中、本堤の石積みや水圧による力の流れの美しさが目にみえて強い感動と強い印象を受けました。管理上、浄水は人間の生命の源であることもしみじみと心の奥底に感じる事ができました。

午前中で見学会が終わり、昼食の段取りとなり近畿水の塾の久保田洋一さんが、宝塚のがんご寿司を予約してくださり、白梅の香る庭を鑑賞しながらの昼食と和やかな懇談会は、15時00分に解散となりました。

編集長 岡崎善久(岡崎善久建築設計事務所)

淀川愛好会事務局：〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 石田研究室内
TEL/FAX：072-839-9125

HP：http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric

E-mail：ishida@civ.setsunan.ac.jp